

## 序

ここに、研究所報第5号をおおくりします。

久しく待望されていた東京オリンピックも、華やかに、そして成功裡に終わりましたが、建設界は相変らず繁忙をつづけております。私どもは、国をあげてのオリンピック騒ぎにも関係なく、黙々と、技術の向上にむかって努力をつづけてきました。

本号に発表された論文の多くは、このような間に、ひそやかに培われたものです。問題はいずれも地味なものですが、いろいろな意味で、示唆に富んだものを含んでいると自負しております。

幾分かでも皆様のお役に立てば、望外の幸せと思います。

1965年4月

清水建設研究所 所長

大 築 志 夫